

トーマス・クノフ先生講演会

ドイツ初期鉄器時代の墳丘墓と集落 —理論と方法—



マグダレーネンブルグの墳丘墓と石囲い木櫛

日時 平成25年5月1日(水曜日) 午後2時30分～4時ごろ

場所 広島大学大学院文学研究科 大会議室

講演会プログラム

- 14:30 ごあいさつ 文学研究科長 勝部 真人
文学研究科考古学研究室主任教授 古瀬 清秀
講演にあたって 総合科学研究科准教授 フンク カロリン
- 14:50 講演会(英語による講演と日本語パワーポイント、レジュメ)
- 15:40 質疑応答(ドイツ語通訳;ウエルナー シュタインハウス)

トーマス・クノフ略歴

1. 1993年 チュービンゲン大学で考古学専攻修士号取得
(修士論文「ローマ時代のジンデルフィンゲン」)
2. 2000年 チュービンゲン大学で考古学専攻博士号取得
(博士論文「考古学における連続と非連続—原典批判と比較研究—」)
3. 2010年 ドイツ研究振興協会プロジェクト
「西バル地方のハルシュタット期集落の動態
—マグダレーネンブルグ墳丘墓とその周辺環境の研究—」
4. 2010年 教授資格申請論文「原史農業における資源利用と環境適応
—考古学と民族誌の研究を中心として—」
5. 現在、スイス・チューリッヒ大学、チュービンゲン大学(教授資格取得)講師